

一般社団法人 堺高石青年会議所 2025年度 周年総務広報室	
礎・飛躍総務委員会	
委員長 高村 惣裕	
設置背景	堺高石JCは70年にわたり輝かしい歴史を重ね、先輩諸氏が築いてきた貴重なスキルと知見が豊かに蓄積されています。これらの財産をさらに活かしていくためには、これまでの功績を振り返り、未来に向けてその価値を昇華させる必要があります。
設置目的	■堺高石JCが先輩諸氏と作りあげてきた基盤をもとに今まで以上に盤石な組織を作り上げることを目的とします。 メンバー一人ひとりがこれまでの70年に渡る歴史を振り返り、この結果をもとに新たな時代に即した、組織づくりを実現することを目的とします。
活動概要	①2月総会及び事業の実施(2月例会) ②5月総会の実施(5月例会) ③70周年記念式典の実施(7月例会) ④70周年記念誌、記念ロゴマーク、記念グッズの作成(7月) ⑤11月総会並びに事業報告会の実施(11月例会) ⑥理事会議の設営 ⑦年間を通じた対外への情報発信 ⑧年間を通じた対内への情報発信 ⑨公式ホームページ、SNSの更新及び運用
K G I	①参加者の100%が「金融リテラシーが向上した」状態 ②参加者の100%が次年度へのビジョンを思い描き、堺高石JCの一員であることを強く感じた ③70周年記念式典参加者の100%が、これまで積み重ねてきた歴史と実績の偉大さを実感した状態 ④70周年記念式典参加者の100%が堺高石JCに高いプレゼンスを持っている状態 ⑤参加者の100%が今年度事業の概要について理解した状態 ⑥理事会メンバーの100%が「運営に不備がない」と感じる状態 ⑦SNSフォロワー数を前年対比20%増加した状態 ⑧メンバーの100%が事業に対して出席意欲が向上した状態 ⑨年間アクセス数とエンゲージメントを30%増加した状態
政策手法	①今後の経営戦略の指針とするため、金銭に対する知識と活用法を伝えることで、メンバーの経済に関する知識向上を図ります。 ②メンバーの総意を反映するために、厳正かつ公平な総会を開催することで、LOMの未来を創造します。 ③これまで培ってきた伝統と未来を繋ぐ70周年記念式典を開催し、次世代へのメッセージを伝えていくために、過去の活動を振り返り、そこから得られた経験や知見をもとにした未来を会場全体で想い描くことで、シニアや各LOMとの絆を深めます。 ④これまでの歴史の積み重ねと未来への展望を示すために、70年の功績を振り返り、共有することで、堺高石JCが誇りある組織であると <b>顕示</b> します。 ⑤今後も組織全体が一体となってJC運動をおこなっていくために、1年間の活動の成果を <b>振り返る</b> ことで、次年度の活動が更なる飛躍を遂げます。 ⑥理事会議を活発な議論の場にするために、最適かつ合理的な設営を行うことで、厳粛で質の高い理事会を開催します。 ⑦これまで70年に渡り築き上げてきた地域や企業との連携をさらに強化するために、 <b>我々が定期的</b> におこなっている活動内容について <b>積極的に発信</b> していくことで、我々の活動を広く伝播していきます。 ⑧日頃の活動への理解を深めるために、定期的に情報の発信をしていくことで、メンバーの事業に対する関心と参加を促進します。 ⑨我々の活動について認知度の向上を図るために、ホームページやSNSを定期的に更新し、広く情報発信をおこなうことで、堺高石JCのブランドイメージを向上させます。
パートナー	③堺高石JCシニア・クラブ(70周年記念式典への支援)及び地域メディア(広報活動の連携) ④作成企業(70周年記念誌、記念ロゴマーク、記念グッズの作成) ⑥事務局及び各委員会(連携した組織運営) ⑦事務局及び各委員会(対外に向けたPR活動)